

2022 年度英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 19-0015 足 立 理央奈 『ピーターパン』の翻訳と分析
- 文 19-0016 穴 瀬 天 樹 『ナルニア国物語』における戦争描写と宗教観の関係性—第二次世界大戦とのつながり—
- 文 19-0031 池 部 鈴 菜 『グリーンブック』におけるトニーとドクの変化—対照的な人物設定・アメリカ南部における差別・転機となる場面に焦点を当てて—
- 文 19-0041 泉 優 志 『ウィンザーの陽気な女房たち』の言語的比較と背景・批評
- 文 19-0055 井 上 真 希 『ハリー・ポッター』論—三つの秘宝と自己犠牲を中心に—
- 文 19-0080 内 川 紗 知 『グレイテスト・ショーマン』における人物分析—大人と子ども、バーナムを取り巻く登場人物、モチーフ—
- 文 19-0110 大 瀧 諒 「信頼できない語り手」を考慮すると現れる『日の名残り』の本質
- 文 19-0130 岡 野 葉 南 ロバート・バーンズの平等思想
- 文 19-0138 奥 絵梨花 音声・コミュニケーション活動・国際理解教育における英語教育の在り方について
- 文 19-0153 小 野 剛 大 強いイメージを想起させる呪文の名前—有声阻害音とモーラが持つ音象徴的イメージを焦点に—
- 文 19-0170 葛 西 育 美 狩猟のメタファーにおける男女関係
- 文 19-0174 金 田 昌 也 『トゥルーマン・ショー』における登場人物の相関関係—物語の人物相関図、呪縛からの脱却、視聴する者達—
- 文 19-0179 蒲 田 美 和 『チャーリーとチョコレート工場』の翻訳と分析
- 文 19-0194 川 邊 泰 佑 『Death of a Salesman』における家族崩壊の原因—ジェンダー・セクシュアリティの観点から見た男性への抑圧—
- 文 19-0198 喜 井 大 晴 『人間の絆』における宗教からの解放と結末部分の役割
- 文 19-0204 岸 本 真 奈 『ハリー・ポッター』の分析—フェミニズム、善と悪—
- 文 19-0207 北 川 香 奈 『アリー/スター誕生』における人物分析—映画の変遷と主要人物たちの描かれ方—
- 文 19-0225 高 晨 雨 『鬼滅の刃無限列車編』映画版における登場人物の性格とポライトネステストラテジーの違い
- 文 19-0252 小 村 真 穂 ヘミングウェイ短編小説試論
- 文 19-0261 近 藤 光久仁 『ティファニーで朝食を』における自由の分析
- 文 19-0262 紺 野 加 奈 メトニミー再考—参照点モデルをめぐる—
- 文 19-0279 崎 山 新 輝 黄金期スラッシャー映画の比較分析—生存する女性—
- 文 19-0282 笹 井 浩 貴 『美女と野獣』におけるテーマと相違点
- 文 19-0283 佐々木 佳奈子 『アイ・アム・サム』における人物分析—サムを取り巻く人物を通して—
- 文 19-0293 塩 釜 一 成 「正義」の観点から読み解くアガサ・クリスティーの想い
- 文 19-0304 渋谷 歩 乃 映画『ズートピア』における動物メタファーと諷刺—偏見および差別の観点から読み解く—

- 文 19-0322 鈴木香澄 ステファニー・メイヤーの『*twilight*』—和訳の比較と分析—
- 文 19-0350 滝本蒼太 日本とアメリカの競走馬の名前における素早さを表す音象徴
- 文 19-0354 武仲音波 クリスティーナ・ロセッティ作品における恋愛表現と死
- 文 19-0363 舘洋祐 二重目的語構文における無生物主語による与格交替の可能性
- 文 19-0394 田村睦果 日本における洋画タイトルの傾向—1970年代と2010年代の映画を題材として—
- 文 19-0412 鶴野美雪 *The Wind in the Willows, Winnie the Pooh, and The House at Pooh Corner: Satire and Humanity in Animal Fantasy*
- 文 19-0430 中井満菜 抽象領域における除去動詞の *locative alternation*
- 文 19-0450 中畑優希 メタファーが物語を面白くする
- 文 19-0472 永井あゆ *The Catcher in the Rye* 論——ホールデンの精神的成長——
- 文 19-0498 西野夢季 日本語母語話者と英語母語話者における口蓋化子音を持つ「かわいい」イメージの検証
- 文 19-0505 沼本樹 シャーロック・ホームズシリーズから見るイギリスの階級社会、ジェンダーロール
- 文 19-0509 野林拓真 中間構文での動詞と副詞の位置交替
- 文 19-0522 鉢呂春咲 会話にみる共通知識
- 文 19-0526 濱田咲喜 『ハウルの動く城』論——ファンタジーの伝統とそこからの逸脱——
- 文 19-0537 原塚拓巳 Yes-No 疑問文のイントネーションの使い分け—実際の会話から考察—
- 文 19-0538 坂東朋佳 *Gender Roles in The Lion, the Witch and the Wardrobe and Harry Potter and the Philosopher's Stone* —Analyzing the Depiction of Justice and Evil—
- 文 19-0560 日渡尚旭 日本語と英語における植物のメタファー—Root と根の比較—
- 文 19-0565 福川准生 『2001年宇宙の旅』におけるモノリスの役割とAIの進化——人間の進化と機械の感情に焦点を当てて——
- 文 19-0569 福益綾香 動物の名前に現れる音象徴—肉食性・草食性と毒性に焦点を当てて—
- 文 19-0573 藤美紀 ヘミングウェイ短編小説論
- 文 19-0583 藤田海愛 早期英語教育に関する日本人の誤解、影響についての意識調査
- 文 19-0589 藤森萌花 Subject の語彙ネットワーク分析
- 文 19-0600 堀川綾音 素早さの音象徴：風邪薬の名前における前舌母音と無声阻害音
- 文 19-0618 増井晴菜 クラッカーの名前における音象徴の調査と実験—Jurafsky (2014)の再検討を中心に—
- 文 19-0635 松本颯斗 バイロンの詩における「光」と「影」
- 文 19-0663 宮本舞 *The Transition in Women's Representation Through the Image of Cinderella: —From Charles Perrault's Tale of Rebecca Solnit's Cinderella Liberator—*
- 文 19-0666 麦谷志織 L.M モンゴメリ *Anne of Green Gables* における翻訳の比較と分析
- 文 19-0697 安富万帆 日本とアメリカにおける自動車の名付けの音象徴的つながり
- 文 19-0722 山中美鈴 『A.I.』における人物分析——デイビッドとモニカの親子関係、案内人とバディ、デイビッドの変化——

- 文 19-0741 吉 田 篤 司 「言語間距離」における英語能力指数の差
- 文 19-0745 吉 村 有 彩 音位転換を引き起こす要因—聴解実験による容認性判断に基づいて—
- 文 19-0755 渡 辺 はな子 共感覚表現における一方向性仮設の検証
- 文 19-0757 和 田 安紗美 *Comparison and Analysis of Japanese Translations of Howl's Moving Castle*
- 文 21-3009 城 田 志保奈 ジェーン・オースティンの *Pride and Prejudice*—和訳の比較と分析—
- 文 21-3012 中 野 瑛 暗殺教室におけるボライトネス・ストラテジーの発現—ころせんせーの依頼表現を通じて考察する—
- 文 18-0054 井 畑 怜 skip の多義—イメージスキーマによる多義分析—
- 文 18-0102 大 草 大 海 「幸福な王子」の分析
- 文 18-0126 大 矢 雪 乃 映画『ギフトッド』における人物の変化—フランクの教育とメアリーの幸せ、感情を示す色彩—
- 文 18-0150 小 田 廉 日英比較から見える日本の英語力と日本語の特徴についての研究
- 文 17-0136 大 谷 怜 爾 *Products or Producps ? The deletion of /t/ out of /ts/*

2021 年 英米文学英語学会会計報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,441,129 円	「英米文学英語學論集」第 10 号印刷代	244,000 円
特別会費	90,000 円	郵送料	412 円
学生会費	198,000 円	文具	498 円
		人件費	20,000 円
		雑費 (振込料など)	880 円
利息	18 円	次期繰越金	2,463,357 円
合 計	2,729,147 円		2,729,147 円

2021 年度英米文学英語学会会計報告について監査を行った結果、適正なものであることが認められますのでその旨証明いたします。

査読編集委員会

秋 元 秀 紀 (本学教授)

*高 橋 美 帆 (本学教授)

干 井 洋 一 (本学教授)

Richard Donovan (本学准教授)

*編集代表

学 会 開 催 報 告

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英米文学研究会 共催研究大会が2022年10月15日(土)13時より関西大学第1学舎2号館 B101にて行われました。詳細は以下のとおりです。

[研究発表]

英語学

中村 哲也 (M2) 「運搬を表す移動様態動詞の使役形への構文文法的考察」

司会 岩田 彩志

英米文学

濱田 彩夏 (M2) 「クリスティーナ・ロセッティとイタリア」

司会 高橋 美帆

楊 雪純 (M1) 「キーツと恒久——‘Ode on a Grecian Urn’再解釈」

司会 高橋 美帆

[卒論構想発表会]

岡野 葉南(高橋ゼミ) 「ロバート・バーンズの平等思想」

司会 高橋 美帆

鶴野 美雪(Cardいゼミ) “Satire on Human Society Through Animal Fantasy”

司会 Luciana Cardi

濱田 咲喜(干井ゼミ) 『『ハウルの動く城』ファンタジーの伝統とそこからの逸脱』

司会 干井 洋一

増井 晴菜(熊谷ゼミ) 「クラッカーの名前における音象徴: Jurafsky (2014) の再検討」

司会 熊谷 学而

山中 美鈴(秋元ゼミ) 「映画『A.I.』について 枠の中のデイビット、案内人としてのジゴロ・ジョー」

司会 秋元 秀紀

和田安紗美(Donovanゼミ) “Comparison and Analysis of Howl’s Moving Castle”

司会 高橋 美帆

【編 集 後 記】

今年ようやく対面による学会開催が実現し、懇親会はできなかったものの学生間の親睦は深まり、4回生は卒論完成に向けての弾みがついた。卒論口頭試問はオンラインで行い、在外研究中のドノバン先生もNZから参加、文学部優秀論文はドノバンゼミから選出された。投稿論文は次号に期待したい。編集作業は今回も、西田佐智子さんにお世話になった。いつもながら細やかな心遣いに感謝申し上げる。

『英米文学英語学論集』投稿規定

1 投稿資格

本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。

2 投稿論文及び翻訳

投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。

3 投稿の採否

投稿原稿の採否は、査読編集委員会あるいは同委員会が委嘱する査読者の評価に基づいて、査読編集委員会が決定する。

4 書式上の注意

- i 注は本文の末尾にまとめる。
- ii 注のナンバ―は肩付き、数字はアラビア数字（かっこなどで枠付けしない）を用いる。
- iii その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。

① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)

② 『MLA英語論文の手引』（第5版）（北星堂）

③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定

④ *The Chicago Manual of style* (Fifteenth Edition)

⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*

⑥ *APA (American Psychological Association) Style*

iv 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。

5 原稿締め切り

原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月までに刊行するものとする。

6 電子化による公開

投稿した論文等が本論集に掲載された場合、投稿者はその論文等が関西大学学術レポジトリに登録されることを許諾したものとす。ただし投稿者本人の事前の申し出により登録を辞退することができます。

関西大学英米文学英語学会会則

第一条

本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合人文科英米文学英語学専修合同研究室に置く。

第二条

本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

一. 機関誌『英米文学英語学論集』の刊行。

第四条

二. その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。本会は次の者をもって会員とする。

一. 本学文学部総合人文科英米文学英語学専修の専任教員。

二. 本学文学部総合人文科英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科英米文学英語学専修の学生。

三. 右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四. 本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中の入会希望者。

第五条

五. 本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。本会に次の役員をおく。

一. 会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二. 副会長 副会長(一名)は会長が指名するものとする。

三. 評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

四. 委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・会計監査及び広報を分担する。

役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

会費は第四条第一項に該当する者は年会費一万円を納入する。第四条第二項に該当する者は千円を納入する。その他は年会費三千円を納入する。

会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができる。この会則の変更は評議員の議決による。

第八条

(会則改正 二〇一八年二月十四日)